

●施設の概要

施設名	岐阜ファミリーパーク	所管課	都市建設部 公園整備課
所在地	岐阜市北野北、出屋敷及び山県北野地内		
指定管理者名	ファミリーパークホールディングス		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	101,090,000円		
施設の設置目的	自然豊かな里山の中で、子どもたちが自由に遊び、スポーツやレクリエーションなど市民の活動の場となる総合公園として設置		
施設概要	・公園種別 総合公園 ・開設年月 昭和57年3月 ・開設面積 541,443㎡ ・主な施設 - こどもゾーン ・有料施設（サイクルモノレール、スーパーモービル、ボブスレー、バッテリーカー、ボート、ゴーカート） ・無料施設（ジェロニモ砦、長大ローラーすべり台、芝滑り、ふわふわドーム、くもの巣遊具、ハチの巣遊具、すくすくランド（幼児用遊具）など） ・管理施設（事務所、フードコーナー、休憩所、トイレ） - スポーツレクリエーションゾーン ・野球場、サッカー場兼ラグビー場、テニスコート（全天候型10面） - ミワクル広場、芝生広場、徳山の家 など		

●利用状況

単位：名 単位：円

		こどもゾーン	スポレクゾーン	ミワクル広場	利用者合計	料金収入
R2年度	上半期	156,149	26,298	8,364	190,811	19,746,900
	下半期	223,249	29,172	19,608	272,029	28,323,360
	合計	379,398	55,470	27,972	462,840	48,070,260
R3年度	上半期	211,414	30,744	10,974	253,132	26,487,240
	下半期	242,650	42,414	18,444	303,508	31,457,530
	合計	454,064	73,158	29,418	556,640	57,944,770
R4年度	上半期	236,195	57,572	24,204	317,971	29,842,150
	下半期	221,792	39,563	20,178	281,533	26,805,150
	合計	457,987	97,135	44,382	599,504	56,647,300
R5年度	上半期	197,140	59,588	29,386	286,114	24,258,270
	下半期	217,491	39,598	22,486	279,575	26,870,300
	合計	414,631	99,186	51,872	565,689	51,128,570
R6年度	上半期	221,697	48,874	22,183	292,754	26,045,410
	下半期					
	合計	221,697	48,874	22,183	292,754	26,045,410

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項 (運営業務について)	履 行 状 況 (実施内容・時期等)
利用者 サービス	1 公園全般の業務の実施	1 業務日報：毎日（日報提出）、業務報告：毎月（月報提出） 2 利用者へ必要な情報の提供：案内看板の適切な設置・園内放送やホームページのお知らせ欄・休憩室及びフードコート内に設置されたデジタルサイネージの活用・園内放送の徹底 3 施設利用者把握：アンケートの実施、ホームページ等の意見・要望の実施 4 ファミリーパーク各施設の協働体制：少年自然の家、体育館との三者会議への参加による協働体制を整備 5 地域機関との連携：緊急時等の対応は、地域を管轄する機関（警察、消防、地元自治会等）と連携し、安全対策（防犯活動）や自然災害対応（防災士の配置や防災備品の充実）を実施 6 管理要員の適正な配置：適正な職員配置となるよう、毎月の勤務体制表を作成 7 ファミリーパーク運営協議会の開催：三輪北自治会連合会、地域市議会議員、岐阜市職員で構成（第1回運営協議会を10月18日に開催） 8 日常安全管理：安全管理マニュアルや防犯器具を常備、急患発生時等の緊急時には、送迎カートやシャトルカーをその本来の業務外であっても柔軟に搬送等に使用
	2 有料公園施設 (供用日・時間の遵守、施設貸付、利用受付及び使用料徴収業務)	1 有料施設の適切な管理：供用日・供用時間等の業務は仕様書を遵守 2 施設の安全運航：施設のメンテナンスは事前に周知、緊急時の対応はホームページ等を活用し周知 3 施設貸付：スポーツ施設の利用促進を図るため、ホームページと岐阜市公共施設予約システムのページをリンクさせ活用 4 使用料の徴収：使用料の取扱いは細心の注意を払い、複数人でのチェックを実施 5 ミライロ：ミライロの施設登録を行い、使用料減免手続きの利便性向上を実施
	3 ミワクル広場の維持管理	1 専属の監視員の配置：土日祝日及び学校の長期休暇に合わせ、専属の監視員を常駐配置 2 安全対策：緊急用の放送設備や日差し緩和、熱中症対策用の緑のカーテン、パラソルベンチ、自動販売機、ミスト遊具等を設置 3 施設利用者把握：利用者アンケートを随時実施 4 定期点検：ジャンピングボムのボール及びネット点検を随時実施 5 維持修繕：遊具周辺の不陸整正
	4 駐車場の維持管理	1 臨時駐車場（未舗装） ・定期的に除草作業、地表面の不陸整正等を実施 ・フェンスの修繕を随時実施 ・スポレクゾーン駐車場の位置標示を実施 2 こどもゾーン駐車場 ・ゲートの閉鎖による夜間及び休日の管理を適切に実施 ・経年劣化による路面修理を実施（舗装面補修） 3 スポレクゾーン駐車場 ・常時使用可能 4 おもいやり駐車場 ・劣化したコーンの交換 ・案内板の設置等
	5 広報の方策について	1 情報発信：ホームページやInstagram、園内に設置されたデジタルサイネージによる公園情報の発信 （デザインは専門業者に発注し、利用者に分かりやすい情報を発信） 2 パンフレットの作成：多言語（英語・中国語）に対応 3 岐阜市広報誌及び民間広報誌への情報提供：岐阜市広報誌の活用やフリーペーパー等の情報誌に施設情報等を掲載（咲楽saku他） 4 地域への情報提供：地元自治会、小学校等へ適時案内チラシを配布 5 情報サイトへの施設情報の掲載：専門サイトに掲載 （Tanoshimo!（タノシモ） コミュファ光）

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	1 お客様ドーナツプレゼント 事業	実施	通年	回数券3,000円分でドーナツ1個をプレゼントし、回数券の販促と利用者増に繋げた。 ＜実績＞ 交換数：831個
	2 岐阜ファミリーパーク× 岐阜バス共同企画の実施	実施	通年	岐阜バスとの共同企画として、岐阜バスを利用して来園された方全員に「1DAY Freeパスポート」、ドーナツ、オリジナル缶バッジなどをプレゼントした。 ＜実績＞ 1DAY Freeパスポート引換数：181名
	3 高校生による花苗の 栽培品の活用	実施	6月	岐阜農林高校生徒が栽培した花苗3,000株を花壇に植栽した。
	4 熱中症対策及び省エネ対策	実施	6月	省エネ対策/果実の収穫を兼ねた緑のカーテン（ゴーヤ、四角豆）を、管理棟休憩所南側、ポート乗り場待合所及びミワクル広場の3か所に設置し、利用者の熱中症対策を講じた。
	5 ふれあい温室の活用	実施	通年	温室で草花の種から育てる栽培事業を実施した。 園内に活用できる花苗の栽培、ラベンダー及び四角豆の苗づくりを実施。再利用のためチューリップの球根を乾燥し保管した。
	6 シャトルカーの運行	実施	通年	こどもゾーンとスポレクゾーンを結ぶシャトルカーを運行した。（土日祝日運行）
	7 キッチンカーの導入	実施	通年	利用者への食事の提供とメニューの充実化、フードコーナーの待ち時間の短縮のため、こどもゾーンに土日祝日や春休みの平日、夏休みのお盆期間にキッチンカーを導入した。
	8 公園内送迎カート運行	実施	通年	こどもゾーンとミワクル広場において送迎カートを運行した。（土日祝日運行）
	9 岐阜バス ラッピングバスの運行	実施	通年	岐阜バス車両にファミリーパークオリジナルラッピングを施し公園をPRした。
	10 鯉のエサ販売	実施	通年	こどもゾーン太陽の池に錦鯉を飼育し、鯉のエサを販売した。
	11 障がい者就労支援 事業所との連携	実施	通年	障がい者就労支援事業所を利用する2名が園内美化作業を週3日間実施した。
	12 園内パンフレット 多言語化	実施	通年	外国人利用者に対応するため、英語・中国語版の園内パンフレットを作成し、多言語に対応した。
	13 こいのぼりまつり	実施	5月5日	特設ステージでは地元保存会の雨乞い太鼓踊りや太鼓演奏を実施した。また、ゆるキャラ（うーたん、FC岐阜ギッフィー）による、ダンスやミニゲーム、記念撮影会などを行い、来園者と交流を図った。 ビンゴ大会は、小学生以下500名にカードを配布し、乗り物回数券やお菓子の詰め合わせをプレゼントした。 （来園者約7,000名）
	14 セタまつり	実施	6月24日～ 7月7日	管理事務所と多目的ホールの2カ所にセタ飾り用の笹を設置した。多くの来園者によって約300枚ほどの短冊が飾られた。
	15 ラベンダーの花プレゼン ト	実施	6月29日	園内で栽培したラベンダーを収穫、来園者100名にプレゼントした。
	16 こどもお仕事体験	実施	8月22日	小学生を対象とした岐阜ファミリーパークのお仕事体験を実施した。20名の参加があり、乗り場の受付や園内放送等を体験した。また龍の進水式を行った。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	17 メダカの飼育	新規	4月～	近年人気を集めるメダカの養殖体制を確立した。 (秋のイベント時に、来園者にメダカをプレゼントする予定。)
	18 ゴーカートコース上における見守りカメラの設置	新規	4月～	ゴーカートコース上の脱輪等の発生しやすい急カーブ等の箇所に見守りカメラを設置した。ゴーカートコースの安全確認や脱輪等の緊急時に直ちにスタッフが駆けつけられるよう安全体制を充実した。
	19 龍の制作及び進水式	新規	4月1日～ 8月22日	太陽の海に浮かべる龍を制作した。 龍のデザインは、来園したこども達にアンケートを実施し、その結果を反映した。 完成した龍は、こどもお仕事体験参加の小学生と共同で進水式を行い、太陽の海に設置した。
	20 夏休みフォトコンテスト	新規	7月27日～ 9月16日	夏の暑さによる来園者数の減少を解消し、利用促進に繋げるため、夏休み期間にインスタグラムにてフォトコンテストを実施した。 15名の応募があり、入賞者の10名にはお菓子の詰め合わせをプレゼントした。
	21 公園を拠点とした自然学習会の実施	実施	9月18日	少年自然の家との協働で地元小学生による石田川の生き物調査を実施した。 (三輪北小学校3年生が参加)
	22 遊具待ち時間表示看板の設置	実施	通年	インフォメーションセンター外壁に有料遊具及びフードコートでの待ち時間の表示板を設置し、来園者への情報ツールとした。
	23 スポレクシャワー施設の温水使用	実施	通年	スポレクゾーンのシャワー施設を温水使用が出来るように改装した。
	24 落下物防止ネットの設置	実施	通年	ボート乗り場周辺に落下物防止ネットを設置した。利用者の不意のスマホ等の落下に対応できるようにした。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
施設管理	1 建物、工作物、設備維持管理業務	実施	通年	1 日常点検業務 ・環境整備業務（周辺のゴミ拾いや枝払い等）と共に実施し、定期管理業務も随時実施 ・こどもゾーン及びミワクル広場の遊具点検、電気施設保安点検年次点検（9月8日）を実施 2 安全に対する意識 ・職員研修（新人研修及び全員朝礼）等による安全に対する意識向上 3 施設維持管理 ・スタッフによるパトロールと、異常個所の修繕の実施 4 野球場内外野整備 ・専門知識の豊富な業者に年間整備計画の指導を受け、施設整備を実施 ・専従スタッフの配置 5 迅速な対応 ・営繕経験者による迅速な修繕の実施（トイレ、券売機、岩ミスト、照明）
	2 保安警備業務	実施	通年	1 管理棟警備 ・夜間及び休日の管理棟の警備は、民間警備会社による警備を実施 ・異常発生時には、即時対応が可能な体制を構築 2 緊急連絡体制 ・緊急連絡網を確立し、迅速な報告を受けることができるような体制を構築 3 不審者対応 ・パトロールカーによる巡回警備の実施 ・事務所及びスポレクゾーンに防犯器具を常備
	3 園内清掃業務 4 便所清掃業務	実施	通年	・開園前に全員園内清掃実施 ・常時2名が日常的な建物清掃と便所清掃を実施 ・業者による定期的な清掃を実施
	植物管理業務について			
	1 芝生管理 2 除草、草刈	実施	通年	1 芝生管理 ・緑化スタッフの配置 ・スポレクゾーンの芝生広場は、月2回の草刈りを実施 ・乗用芝刈り機を使用した大規模な管理を年2回実施（肥料の施肥等、除草及び草刈り） 2 除草作業 ・園路施設周辺における除草作業は、専属職員の配置を行い、常時3名で実施 3 安全講習 ・草刈作業は、従事者全員が刈払機の講習を受講したものが実施（新人1名（6月27日受講））
	3 樹木管理 4 花壇等管理	実施	通年	1 園内管理 ・公園管理業務経験者による落枝の危険個所の確認等の園内パトロールを実施 2 樹木管理 ・有資格者による適切な状況判断による管理の実施（枯損木、剪定処理等） 3 花壇管理 ・職員による花壇管理の実施 ・提携している岐阜農林高校からの花壇用花苗の活用 ・温室にて栽培している季節の花苗株の活用（ラベンダー栽培）
	5 動物飼育	実施	通年	こどもゾーンボート池や野球場前の観賞池では、来園者の心を癒す錦鯉を飼育

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容、時期等）
施設修繕	修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	1 こどもゾーン（主な修繕等） （4月） スーパーモービル ・8号車駆動ローラー、ベルト交換 ・1号車駆動ローラー、ベルト交換 サイクルモノレール ・2号車グリップ修理 ・3号車ゴムタイヤ交換 ゴーカート ・14号車オイル漏れ、ハブボルト修理 ・12号車サイドブレーキ修理 ボブスレー ・ブレーキシュー、スキット交換 ボート ・ボート桟橋屋根シート改修 ・No.111ワイヤー交換 （5月） スーパーモービル ・8号車駆動ローラー交換、モーターグリス注入 サイクルモノレール ・1号車左ペダル修理 ・5号車右ペダル修理 ゴーカート ・11号車左ハブ取替 ・11号車コーナーバンパー修理 ボート ・No.113ハンドルギアボックス取替 その他 ・バッテリーカー（No.19）バッテリー交換 ・電動送迎カートバッテリー交換 ・岩トンネル入り口電気配線修理 （6月） スーパーモービル ・3号車駆動ローラー、ベアリング交換 ・6号車駆動ローラー、ベアリング交換 サイクルモノレール ・5号車ゴムタイヤ修理 ・9号車ゴムタイヤ修理 ボブスレー ・ブレーキシュー、スキット交換 ボート ・屋根テント交換 その他 ・芝すべりコースワックス掛け ・山頂バイオマストイレ修理 （7月） スーパーモービル ・3号車右フロントサイドローラーベアリング交換 ・2号車駆動ローラーベルト、集電ブラシ交換 ・7号車駆動ローラー交換 サイクルモノレール ・4号車ローラーベアリング交換 ・日除けパラソル修理 ゴーカート ・15号車サイドブレーキ、スプリング交換 ボート ・ボート詰所屋根のテント交換 （8月） スーパーモービル ・8号車駆動ローラー交換、グリス注入 ・7号車サイドローラーベアリング交換 ・8号車サイドローラーベアリング交換 バッテリーカー ・バッテリーカーバッテリー液補充 ・17号車チェーン修理 ゴーカート ・14号車駆動チェーン修理 ・岩ミストポンプベルト交換 ・岩ミストノズル交換 ボブスレー ・ブレーキシュー交換

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容、時期等）
施設修繕	修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	(9月) スーパーモービル ・3号車左リヤーサイドローラーベアリング交換 ・6号車駆動ローラー交換、集電ブラシ交換 サイクルモノレール ・4号車ローラーベアリング修理 ・9号車右ペダル交換 ゴーカート ・15号車エンジンオイル交換 ボート ・ボートNo117水漏れ修理 2 スポレクゾーン（主な修繕等） (4月) ・健康器具周囲の柵修理 ・ジャンピングボム加圧、交換 (5月) ・ジャンピングボムネット修理 ・ホーンテッドマウンテンネット修理 ・野球場本部席マイク修理 ・野球場プレート、ベースの交換 (6月) ・駐車場の杭修理 ・野球場観覧席漏水防止作業 (7月) ・野球場更衣室コンセント設置 (8月) ・野球場蛇口交換 ・徳山の家障子張替え (9月) ・ジャンピングボムボール加圧、交換 ・ジャンピングボムネット修理
区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容、時期等）
危機管理・法令遵守	その他の留意事項、関係法令の遵守、個人情報の保護、非常時の対応策について	1 その他の留意事項 ・常に利用者の声に耳を傾け、サービス向上に努めている。 2 関係法令の遵守 ・関係法令や条例、規則等を遵守し、適切なサービスの提供に努めている。 3 個人情報の保護 ・個人情報の取扱いについて、職員研修を行い、教育を徹底している。 4 非常時の対応 ・緊急時の対応を想定し、各種講習会を行っている。 ・防火管理者を複数名配置している。 ・責任者から執行役員までの緊急連絡網を整備し、緊急時には迅速な対応ができる体制を構築している。 5 防災対策 ・地域防災計画との連携（防災士の配置・備品の備蓄） ・防災対策班設置、防災用備蓄品の確認（備蓄飲料水更新、土のう、止水板、大型排水ポンプ、情報伝達用トランシーバー、防災用ヘルメット、ブルーシートの備蓄）、 ・地上デジタル放送の確実な受信体制による災害情報の収集に努めている。 ・情報伝達用トランシーバーを4台増設した。 ・有料遊具の受付等に間隔を空けて並ぶための足跡ステッカーを貼付した。 ・園内施設、トイレに消毒液等を設置した。 ・遊具施設等の消毒作業を毎営業日の開園前に実施した。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	こどもゾーン207名 ミワクル広場250名 計457名から回答を得た。 (実施期間：令和6年4月1日～令和6年9月30日)
利用者アンケートの実施結果	○こどもゾーン 1) 年齢 10歳未満23%、10代28%、20代7%、30代16%、40代13%、50代4%、60代以上9% 2) 性別 男性35%、女性65% 3) 住所 市内23%、県内38%、県外39% 4) 知名度 前から知っていた67%、ホームページ8%、SNS9%、雑誌0%、口コミ4%、その他12% 5) 来園回数 ほぼ毎日1%、週1回以上1%、月に1回以上3%、年に数回程度30%、年に1回程度27%、初めて29%、その他9% 6) 人気遊具(複数回答可) ゴーカート98人、スーパーモービル92人、ふわふわドーム67人、ボブスレー67人 他 7) シャトルカー 知っている77人、知らない130人 7-1) シャトルカー利用 利用した30人 利用していない47人 8) 満足度 ハード面 大変満足44%、満足47%、普通7%、やや不満1%、不満1% 9) 満足度 ソフト面：(大変満足・満足合計81%) 大変満足40%、満足41%、普通17%、やや不満2%、不満0% 10) 職員の対応：(大変満足・満足合計85%) 大変満足47%、満足38%、普通14%、やや不満1%、不満0% 11) 総合満足度：(大変満足・満足合計91%) 大変満足49%、満足42%、普通8%、やや不満1%、不満0% 12) 次回の利用について 必ず来る55%、来たいと思う43%、どちらともいえない2%、たぶん来ない0%、来ない0%
	○ミワクル広場 1) 年齢 10歳未満0%、10代2%、20代3%、30代45%、40代46%、50代1%、60代以上3% 2) 性別 男性22%、女性78% 3) 住所 市内35%、県内39%、県外26% 4) 知名度 前から知っていた69%、ホームページ2%、SNS20%、雑誌0%、口コミ3%、その他6% 5) 来園回数 ほぼ毎日0%、週1回以上0%、月に1回2%、年に数回60%、年に1回5%、初めて31%、その他2% 6) 人気遊具(複数回答可) ジャンピングボム207人、ボルケーノスライド187人、ホーンテッドマウンテン160人、スカベラトンネル141人 他 7) シャトルカー 知っている152人、知らない98人 7-1) シャトルカー利用 利用した63人 利用していない89人 8) 満足度 ハード面 大変満足73%、満足26%、普通1%、やや不満0%、不満0% 9) 満足度 ソフト面：(大変満足・満足合計99%) 大変満足61%、満足38%、普通1%、やや不満0%、不満0% 10) 職員の対応：(大変満足・満足合計99%) 大変満足54%、満足45%、普通1%、やや不満0%、不満0% 11) 総合満足度：(大変満足・満足合計100%) 大変満足59%、満足41%、普通0%、やや不満0%、不満0% 12) 次回の利用について 必ず来る88%、来たいと思う12%、どちらともいえない0%、たぶん来ない0%、来ない0%
	○評価対象となる項目の合計 1) 満足度ソフト面：(大変満足・満足計90.2%) 2) 職員の対応：(大変満足・満足計92.8%) 3) 総合満足度：(大変満足・満足計95.8%)
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・ボート利用時の目標物が欲しいので、太陽の海に浮かんでいた龍を再設置してほしい。 →新たな龍のオブジェを製作し、設置した。 長く愛される太陽の海のシンボルとなるよう、龍のデザインは、来園されたこども達にアンケートを実施、完成した龍はこどもお仕事体験参加の小学生と共同で進水式を行った。 ・フードコートのメニューについて、デザートの種類が乏しいのでバリエーションを増やして欲しい。 →新メニューとして、プリン(2種類)の提供を開始し、好評を得ている。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等 利用が確保 されること	市民が平等に利用できるための 基本的な考え方についての 評価	○有料公園施設や駐車場の利用について平等性を保つ姿勢や方策を実施している	A	A	A
			○法令等で禁止されている行為、危険行為、迷惑行為について使用の制限などを実施している	A	A	A
		当該都市公園に関する情報の公開、広報の方策についての評価	○当該都市公園について、広く利用情報を公開、発信する姿勢、方策を実施している	A	A	A
		区分評価				
効果性	事業計画書 の内容が、 対象施設の 効用（設置 目的）を最大 限発揮する ものであること	事業計画書の内容における基本的な考え方についての評価	○「公の施設」を運営・管理するという基本的な考え方を有し業務を遂行している	A	A	A
		園内の施設等管理に対する考え方についての評価	○各施設の維持管理のため、各施設の特性を理解して管理・運営している	A	A	A
			○施設（有料公園施設については除く）の維持管理のため、安全性、機能保全、快適性を確保する管理・運営を実施している	A	A	A
			○公園利用者が快適に過ごすことのできる芝生管理、草刈、樹木剪定を実施している	A	A	A
		有料公園施設運営に対する考え方についての評価	○有料公園施設を利用者が快適に利用できるための方策を実施している	A	A	A
		管理の質及び利用者サービスの向上に対する取り組みについての評価	○管理の質及び利用者サービスの向上に対する具体的な方策を実施している	S	S	S
			○利用者ニーズや苦情に対する把握方策及びその対応策を実施している	S S	S S	S S
			○当該公園全体の利用促進に対する方策を実施している	A	A	A
		その他応募者の独自提案	○その他公園の設置目的を最大限に発揮できるような独自提案について実施している	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書 の内容が、 管理経費の 縮減が図られる ものであること	「事業計画書の内容が管理経費の縮減が図られるものであること」に対する基本的な考え方についての評価	○当該公園の効用が最大限に発揮できるための、効率性の高い業務を遂行している	A	A	A
		管理に係る経費の縮減に対する取り組みについての評価	○指定管理経費を縮減するための方策を実施して、指定管理料に反映されている	A	A	A
			○スタッフ（採用予定者も含む）の配置は適正なものとなっている	A	A	A
		有料公園施設の利用促進に対する評価	○有料公園施設の収入増加を図るための方策を実施している	A	A	A
		その他経費縮減について応募者の独自提案	○経費縮減について応募者の独自提案を実施している	A	A	A
		区分評価				

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価			
				指定 管理者	所管課	評価 委員会	
安定性 安全性	事業計画書 に沿った管理を安定して 行う物的能力、人的能力を有していること	当該団体の業務遂行能力についての評価	○業務を遂行できるための安定的な経営基盤を有している	A	A	A	
			○業務を遂行できる適正な団体構成となっている	A	A	A	
			○組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格が適正であり、ノウハウ、専門知識等を使い管理している	A	A	A	
			○業務を遂行するにあたり、スタッフ（採用予定者を含む）の管理、適正な監督体制をとり、人材育成の方策を実施している	A	A	A	
			○施設の日常点検、定期点検など、異常を早急に発見しようとする方策を実施している	A	A	A	
			○異常があった際に、応急措置を行う体制が整っている	A	A	A	
			○法令を遵守する重要性や個人情報保護について理解し、情報の漏洩を防ぐための方策を実施している	A	A	A	
		緊急時における対応についての評価	○事故を予防するための体制が整っている	A	A	A	
			○事故の発生時に被害者への対応及び施設の復旧などの方策を実施している	A	A	A	
			○大雨、地震などの災害発生が予想されるとき、または発生した時の体制が整っている	A	A	A	
			○災害発生後の対応について、罹災状況の確認と早急な復旧をする態勢が整っている	A	A	A	
		区分評価					A
		貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	事業計画書が地元活性化、地元へ貢献できる内容であるかの評価	○地元での社会活動を具体的に実施している	A	A
○公園の特徴を理解し、地元への配慮等を実施している	A				A	A	
○地元の法人その他の団体の育成施策を実施している	A				A	A	
○地元の住民、高齢者、障害者等の雇用が確保されている	S S				S S	S S	
区分評価					S		

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

前回までの意見を踏まえた取組み状況	1 利用者への食事の提供とメニューの充実化、フードコーナーの待ち時間の短縮のため、土日祝日にこどもゾーンに導入しているキッチンカーの台数を増やした。(2台→3台) 来園者の増加が見込まれるゴールデンウィークにはグルメフェアを開催し、キッチンカーを5台配置する等、提供する食事のバリエーションを充実させると共にフードコーナーへの客の一極集中を回避した。 また、お盆期間にもキッチンカーを配置し好評を得た。 2 災害時における施設復旧を迅速に実施した。 また、災害時の情報収集として必要となる地上デジタル放送の受信環境の整備や、園内の職員に情報を伝達できるトランシーバーを4台増やし配備するなど、非常時における体制を強化した。
今期の取組みに対する評価	1 公園利用者からの苦情や施設の構造上の不備が起因となる事故・事件等の発生はなく、適正に管理できた。 2 安全・安心に利用できるよう遊具等の点検を実施した。 有料遊具は毎日点検、毎月点検、基準診断・劣化診断など、定期点検を実施した。 遊具等点検要領を加筆し、職員が同レベルで点検できる体制を整えた。 公園利用者の安全を確保するため定期的に支障木や支障枝の撤去等を実施した。 3 ホームページやSNS、情報誌やフリーペーパー等を活用し、情報を発信した。 園内パンフレットを随時見直し、こどもゾーンの遊具紹介や交通アクセスの紹介、AEDの設置場所の表示など、来園者が求める情報を適切かつ分かりやすく掲載した。 4 園内施設の安全確保のため、施設修繕等を実施した。 こどもゾーンの遊具修繕、駐車場の路面補修、ポート桟橋のテント張替え、樹木・植栽の剪定、ミワクル広場の遊具修繕、野球場グラウンド整備等を実施した。 5 四季折々の花で公園を彩る花壇管理を実施した。 岐阜農林高校と連携し、園内花壇の花植えを行った。 立ち入り禁止区域の景観向上のため、約50個のプランターを増設し、当該区域に設置した。 6 家族の楽しみや、地域の活性化を目指したイベント開催を実施した。 「こいのぼりまつり」(来園者5月5日約7,000名)、「ラベンダープレゼント」(6月29日100名の来園者にプレゼント)、「七夕まつり」(6月23日～7月7日まで約300名分の短冊を飾った)、「こどもお仕事体験・龍進水式」(8月22日参加者20名)を実施し利用者から好評を得た。 7 ふれあい温室を活用し、緑のカーテン等に利用する花苗や四季折々の草花の栽培等を実施した。(ラベンダー苗等の育成やラベンダーの小道、花ゾーンの設置) 8 来園者(457名)にアンケート調査を行い、集約した意見を運営管理に活用している。 9 周辺建設工事業者と連携し、来園者の交通安全を図る懇談会を開催した。(9月9日) 10 岐阜ファミリーパークを訪れていた来園者に、気持ち良く過ごしていただけるようスマイルあいさつ運動(継続)、新人研修(随時)を実施している。 こどもに分かりやすいよう、職員ネームプレートをはらがな表記にしている。 11 ミワクル広場で要望の多くあった送迎カートの運行を継続して行い、利用者サービスの向上につなげている。 12 案内パンフレットやチラシを長良川鵜飼観光船事務所、道の駅「むげがわ」等に設置し、情報発信に努めた。 インスタグラムの運用を強化し、公園情報の発信に努めている。 13 野生イノシシ対策のため、ゴミ箱の蓋の設置や消毒ポイントの設置(継続)を実施した。 14 こどもゾーン有料遊具の利用促進及びリピーター獲得のため、回数券3,000円分でドーナツ1個プレゼント事業を実施(継続)し、利用促進を図っている。 さらに、岐阜バスとの共同企画において、岐阜バスを利用して来園した利用者全員に「1DAY Freeパスポート」や、ドーナツ、オリジナル缶バッジ、飲み物などの特典が受けられる事業を実施(継続)している。 15 インフォメーションセンター外壁に有料遊具及びフードコーナーの待ち時間表示板を設置(継続)し、利用者満足度の向上を図っている。 16 太陽の海にシンボルとなる龍を制作し、こども参加型で龍のイメージの決定や進水式を行い、公園の新たな見どころのPRを行った。 ・上記項目を実施することで、来園者から良好な評価を得ている。
今後の取組み	1 継続してアンケート調査を実施し、公園利用者の意見を取り入れ、利用者サービスの充実を図っていく。 2 遊具の日常点検等、各種講習会へ参加する。 3 ホームページ、SNS、園内に設置されたデジタルサイネージ等による情報発信やメディアの活用により、公園のPRに努めていく。(各情報誌に掲載、観光拠点にパンフレットの配置) 4 四季折々の花で彩る花壇管理を継続して行っていく。(岐阜農林高校との連携) 5 家族で楽しめるイベントや地域の活性化を目指した事業「スポレクフェスティバル、フリーマーケット、クリスマスリースづくり、FC岐阜親子サッカー教室、ファミリーフェア」等を実施していく。 6 公園施設の修繕は、技能スタッフでの対応又は業者に依頼する等、適宜実施していく。 7 スタッフの育成のため、全体朝礼時にロールプレイを用いた指導の実施、接客対応の向上に努めていく。 8 市との連携をより一層強化していくよう努め、報告事項は速やかに伝達する。 9 すべての来園者に、楽しく安全で気持ち良く過ごしていただけるようスマイルあいさつ運動を継続する。 10 岐阜バスとの共同企画である土日祝日に路線バスで来園した利用者へ「1DAY Freeパスポート」やオリジナル缶バッジ等の特典が受けられる事業を継続する。(4月20日～) 11 太陽の海のシンボルとなる龍のパネルを設置し、公園の魅力をPRする。 12 要望のあった和式トイレの洋式トイレへの改修を順次実施し、来園者のニーズに応える。

●所管課の意見

○すべての業務において着実に履行できている。

- ・休憩室及びフードコート内のデジタルサイネージの活用や、Instagramのコンテンツの改善を実施し、公園の利用促進及びサービス向上、情報発信に努めている。特にInstagramのフォロワー数が、前期 約200人から今期 約3,000人へと大幅に増加し、広報活動の成果が実を結んでいる。
- ・利用者からのニーズが多かった太陽の海に新たなシンボルである龍を製作・設置し、サービス向上に努めている。
- ・スタッフで飼育・繁殖したメダカやラベンダーを来園者にプレゼントするなど、創意工夫やコスト削減を行い、利用者の満足度向上に努めている。

以上により、管理運営の状況は、協定書の内容に基づき、良好である。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・デジタルサイネージを活用した新たな広報手段にチャレンジし、積極的に情報発信や利用促進に努めていることは評価できる。また、従前から取り組んでいるSNSを用いた広報についても、漫然と運用するのではなく、掲載する写真、動画、案内文等のコンテンツの改善や、Instagramにおけるフォロワー数を飛躍的に伸ばしていることは評価できる。Instagramの運用実績など今後の分析に期待したい。
- ・利用者のニーズに的確に対応するため、太陽の池のシンボルである龍の製作過程において、アンケート調査の実施や来園者と協働で設置を行ったことは評価できる。
- ・スタッフの創意工夫およびコスト削減による来園者プレゼントを行い、利用者の満足度向上に努める姿勢は評価できる。
- ・今後も、災害への危機管理、安全性を保ちながら、公園の利用促進及び満足度向上につながる取り組みを期待する。

運営管理は適正に行われており、良好と認められる。